

団体名・グループ名

千歳市立桜木小学校 第3学年「ゆうまい川不思議発見隊」

審査委員の評価のポイント

ゲンジボタルが生息しない北海道で、ヘイケボタルを選んで、調べ学習、飼育、保護している。水生生物の分類やスケッチ、標本づくりなど、3年生のレベルで、調べたり、考えたり、興味を膨らませていること、ホタルを通して、「命」の繋がり、大切さを学習していることが高く評価された。

活動の場所

ゆうまいの森「ホタルの里」
ゆうまい川周辺及び校舎内

活動したこどもの人数 79人

活動したこどもの学年 小学校3年生

活動継続年数

3年

主な受賞歴

なし

活動グループ（学校・団体）の紹介、活動頻度

- ・桜木小学校…千歳市中心部より北西約3kmに位置し、全校児童約500人（17学級）の中規模校です。グローバルな教育活動（グローバルな視点で考え、足もとからローカルに活動する。）の推進と充実を図っています。「ゆうまい川不思議発見隊」については、年間33時間（総合的な学習の時間の一部）を当てています。
- ・勇舞川を守る会…隣接の町内会で組織された団体です。平成7年、ホタルの放流観賞会を開き、翌年より飼育箱によるホタルの飼育を始めました。平成13年8月には成虫からの採卵に成功しました。ホタル専用水路を作り、水生生物を移植するなど、試行錯誤しながら自然を取り戻す活動を重ねてきました。

活動の概要（活動の経緯も含めてご記入下さい）

- 「勇舞川を守る会」で行っている「ホタルの里作り」の活動を知り、本校では3年前より、カワニナやモノアラガイの採取や、ホタルの幼虫の飼育活動と放流を始めました。（現3年生の活動年数は1年です。）
- ①幼虫の飼育と観察・幼虫の放流・水生昆虫の採取と分類・清掃活動等・体験的な学習（5～8月）
- ・飼育や観察において、子どもたちは「気を使う」ということを学習しました。小さな生き物に宿る命を大切にすることによって、愛着がわいてきます。ホタルの幼虫に興味を持ち、早速、川の水を汲んできたり、餌を取ってきた子もいます。当初は幼虫を見ることさえイヤだった子もいましたが、掌に載せて観察できるようになりました。
 - ・水生昆虫採取では、千歳市埋蔵文化財センターの方にお手伝いいただきました。生物に詳しい方で、採った虫の名前をその場で教えてくれました。絶滅危惧種に指定されている「イバラトミヨ（トゲウオの仲間）」の発見もありました。採取した昆虫を標本にし、その後子供たち全員で分担して「勇舞川生き物図鑑」を作りました。
- ②学習会・課題の把握及び解明と中間まとめ（一斉またはグループでの学習…9～11月）
- ・「勇舞川を守る会」の方に、昔の自然豊かな勇舞川の様子や会の活動について詳しく話していただきました。また、ヘイケボタルの生態と体の仕組みを知って、自然の大切さを学びました。多くの子どもが疑問に思っていた発光のしくみを説明するため、ノーベル化学賞を受賞した下村博士の研究を引用し、特殊な溶液を使って瓶の中で光を作る実験を行いました。中身の濃い学習会を行ってくださった「守る会」の方々に、感謝、感謝です。
- ③新たな課題の設定、課題解決と発表手段の工夫に関する学習（個人での学習…12～2月）
- ・ホタルや勇舞川の学習を行ってきて、もっと調べたいことや、伝えたいこと、自分たちにできることなど、個々に課題を決め、自分で調べ、まとめていく学習です。自分の考えや思いを豊かに表現できることを目標にしています。
- ④発表会と相互交流、活動の反省（2～3月）
- ・保護者や地域の方にも呼びかけて、自分が学習したことを、それぞれの方法で発表、発信する予定です。

団体名・グループ名

千歳市立桜木小学校

活動の場所（様子や環境など）

ゆうまい川「ホタルの里」

タイトル

ゆうまい川ふしぎ発見隊

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

今年の春、ゆうまい川を宇野会の方が
学校に大きな水缸を貸して来てくれたのでしました。
水缸には、ホタルのふしぎとカワニナが入っていま
した。はじめ見た時には、ふしぎのこどもをふんた
と思いました。カワニナは小さな石だと思いました。



ふしぎのこどもをふんたといううちに、もってホタルのこどもを知りたくなり、取り入れて
べたりました。

その後、たくさんの方々に、お世話になりました。ホタルやゆうまい川について、
いろいろなことを知ることができました。自分たちで育てた、幼虫をホタルの里にかえ
したり、いのちの生き物を育てたりしたことが楽しかったです。

昔はもっとたくさんのホタルが、ゆうまい川にいたそうです。ホタルや川の生き物
が、たくさん住めるよう、きれいなゆうまい川にしたいと思っています。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタルの放流とかんしょう会



(▲500ぴきくらい放流しました。)

6月10日(火)

ムカ虫の放流をしました。キリめてだったので、うれしかったです。
ムカ虫とエサになるカワニナを、紙コップに入れてもらって、川に放流しました。
おたしは、その日暮にムカ虫がきずかないように気を付けました。カワニナがカ
ツフにくっついて、なかなかとれませんでした。
犬きく 畜ったらいいなと思いました。

やうまい川を守る会の方々が、たくさん来てくださりましたので、ホタルについていろいろと質問をしました。

◇しょっかくは何科のためにあるのですか？

◆耳や鼻の役目 します。

◇ホタルはカワニナしか 食べないのですか？

◆ムカ虫の日暮は、カワニナのほかに、モアマガイなども食べます。
成虫になると、草の上にたまって水だけで、何も食べません。

7月27日(火)

ホタルを見える会に行きました。たくさんの方が集まっていた。

ホタルを手に乗せてもらいました。ホタルの光は黄色いのかと思っていたら、青白いことが初めてわかりました。ホタルの光は明るくてきれいななと思いました。ホタルの成虫の季文え方は、一ひき、二ひきではなく、1豆真、2豆頭と季文えることがわかりました。

川を見たり、お話を聞きました。地球ふんだん化ほう止の音も聞きました。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

8月21日(木)

みんなで川の中に入って、川の流れに合わせて虫耳よりあみを、集力かしたり、川沿いの大きな石のうらを調べてみたりしました。目よりすぎないよう、同じしるりの生き物は川に放しました。自分たちのグループで耳よりてきた生き物をスケッチしました。

虫耳よりしるい
イトドリス



イトドリスは、川の中を泳ぐ生き物です。長い口で、水の中の小さな虫を食べています。また、川の水をきれいにする働きもあります。イトドリスは、川の水をきれいにする働きがあります。

虫耳よりしるい
モイアウ ガイ (モイアウ)



モイアウ ガイは、川の中を泳ぐ生き物です。長い口で、水の中の小さな虫を食べています。また、川の水をきれいにする働きもあります。モイアウ ガイは、川の水をきれいにする働きがあります。

虫耳よりしるい
トビヨウサ (トビヨウサのながさ)



トビヨウサは、川の中を泳ぐ生き物です。長い口で、水の中の小さな虫を食べています。また、川の水をきれいにする働きもあります。トビヨウサは、川の水をきれいにする働きがあります。

虫耳よりしるい
ミナハミ スバヤカ



ミナハミ スバヤカは、川の中を泳ぐ生き物です。長い口で、水の中の小さな虫を食べています。また、川の水をきれいにする働きもあります。ミナハミ スバヤカは、川の水をきれいにする働きがあります。



虫耳よりしるい
ユスリカ



ユスリカは、川の中を泳ぐ生き物です。長い口で、水の中の小さな虫を食べています。また、川の水をきれいにする働きもあります。ユスリカは、川の水をきれいにする働きがあります。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

水生昆虫の分るい

8月27日(水)

とってきた水生昆虫を分るいしました。虫の名前や特ちょうを教えてくださいいただきながら ひょう本を作ることかできました。

名前	サカマキガイ	ホリバトビケラ
アオビゲナガトビケラ	センブリ	マダラカゲロウ
アメンボ	トビイロカゲロウ	ミスダニ
イトミミズ	トビモンエグサトビケラ	ミズバチ
イバラトミヨ	トミヨ	ミズムシ
ウズムシ	ナガレトビケラ	ミミズ
エリモンヒラタカゲロウ	ニンギョウトビケラ	ムラサキトビケラ
オオシカワゲラ	ハゴイタヒメトビケラ	モノアラガイ
ががソボ	ヒメトビケラ	モンカゲロウ
カワニナ	ヒラタカゲロウ	ヤマトビケラ
キリバナトビケラ	ヒラマキガイ	ユスリカ
コエグサトビケラ	ヒル	ヨコエビ
コカゲロウ	ブユ	

これらのムカ虫が、成虫になったらどんな姿になるのかを、教えてくださいいただきました。ムカ虫をプロジェクターでスクリーンに大きく映してくれました。そして、成虫になったらどんなすがたになるのかを、スクリーンに映してくれました。ニンギョウトビケラは、思ってもいないすがたにへん身していたので、とてもおどろきました。



昔から住んでいる西沢さんに、昔のゆまい川のお話を聞きました。昔は、カヅカやザリガニがいて、川のまわりにはかまのほやクレソンもおいしそうっていて、ホタルもたくさんとまかっていたそうです。



住む人がふえ、工事が行われて、
川の様子が変わっていったそうです。
水のように爽やかになり水のおごれで、
水生こん虫がいたそうです。そうすると、
魚もえさかなくて住むなくなってしまいます。
自然の物はいろいろとつながっていて何一つ
なくなってしまうといまかのものもいなくなってしまうことを矢口りました。

その後、「ゆうまい川を守る会」が中心となって、ヤマメを放つ流したり、水草をうえたり、川のそうじなどをして、きれいな水をとりのちとしてきています。ゆうまい川をいろいろな生き物がたくさん住める昔のような川にするために、自分たちでできることは、なにか、みんなでも考えました。

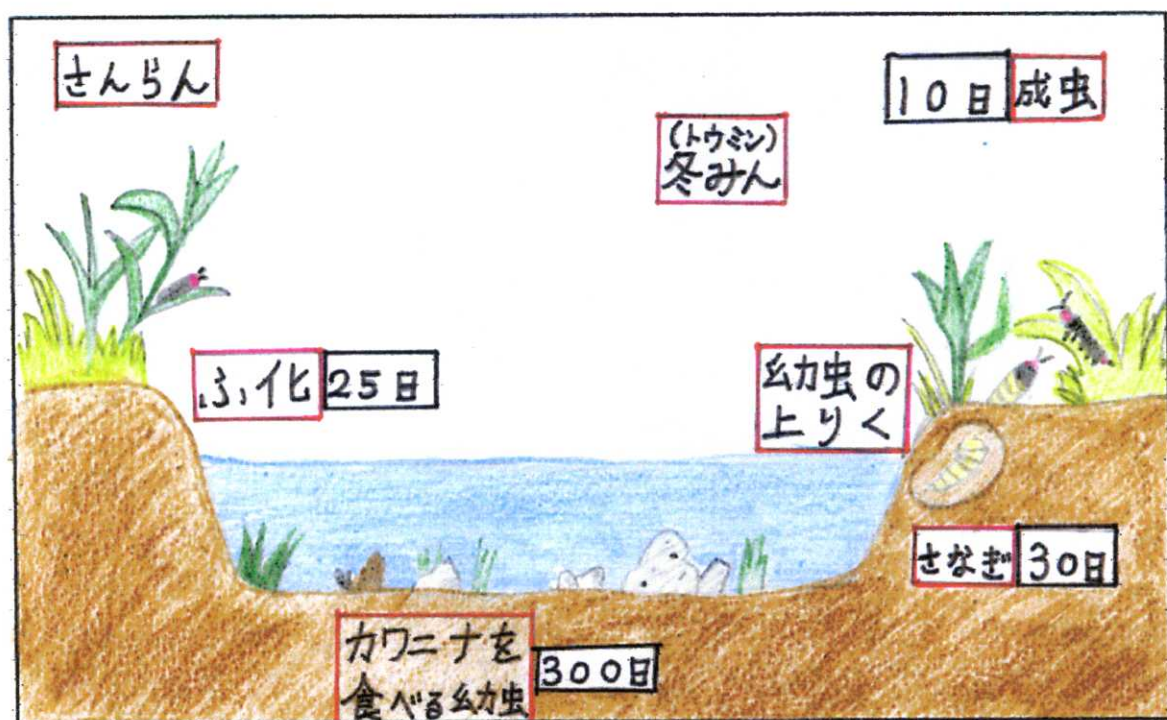


活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

学習会から「ホタルの一生」

11月26日(水)

ホタルの一生について 学習しました。ホタルのじ命は、たった1年です。
メスは、たまごをうんだ後、10日くらいで一生を終えるそうです。



「命」についての 学習しました。

すべての生き物は、まわりの生き物の「命」をもらって生きています。

水生こん虫も、自分より小さい生き物を食べて大きくなります。

人間も、海や川、りくの生き物や、火田などから命をもらって生きています。

いのちを大切にするために

森にはえている、植物をぬいたり、
取り、たりしない。とりをしてつか
まえた虫、ようが、すぐにはなす。

いのちを大切にするために

ゴミがあつたらひろう。
しくぶっこ大切にす。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



活動で工夫したこと、困ったこと

	スーパーグリーン大作戦 7月9日(水)	ホタルサビット 12月1日(月)
活動の 内 容	桜木小では、毎年7月ごろ地いきの方 と、協力して、自分たちの住んでいる文 路や公園などのせり活動をしています。 自分たちが住んでいる所を自分た ちできれいにしようとする活動です。	桜木小では、27年前からホタルサビットを開か れています。町民のための地いきの活動をテーマに小学生 と大人たちが協力しています。自分たちで できることと大人にお手伝いしたいこととを話し決めた ことを実行しています。
活動の 成 果	水生昆虫を捕まえた時は、川の中のごみも ある、たけれといの時は、実際に川にゆす まわりの岩のすきのごみと、いっしょにとった。もえるごみ とちえなごみに分けました。	スーパーグリーン大作戦と小学生だけでなく 町内会の人たちにも協力に手伝ってくださる方にな りました。 ●ゴミを回収する人が多くなり、カラスやベッコウが あつたように、ふたつきのごみばいをまいて ほしいと言ったがそれはできませんでした

これからやりたいこと

やりたいこと

川をきれいにしたい。
ホタルをもとふやしたい。



ポスターを作っておく人たちにくばりたい
川にゴミをすてないように リサイクル

・なんでホタルとゲンジボタルは昔物語の多前が
ついているのか。 エコ(にんかたんをいす)
電気自動車はCO2をださない。

マスクットキャラクターを
作ってせんでんする



ホタル

北海道の昆虫を全部しらべたい。
かみしはい、ちうまい川にいる虫のすかん
水の温度をしらべる。

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。



気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと

環境大臣やみんなに伝えたいこと

＜思ったこと、考えたこと＞

- 虫をつかまえてもすぐにかす。
- あまりつかまえないようにする。

○川にゴミをすてないで川をきれいにして、水生昆虫を生きさせる。

○きれいな場所を自分たちできれいにすることが大切だと思います。

○こどもや動物がすみやすくえさもほうふな森にしたい。

○水草のところがくねっているゴミひろい。

○魚がすめるようにきれいにしたほうがいい。

○水にしずんでみえないゴミひろい。

＜自分たち一人ひとりでできること＞

○自ずんの生きものをとらない。

○自ずんをこわさない。

＜環境大臣やみんなに伝えたいこと＞

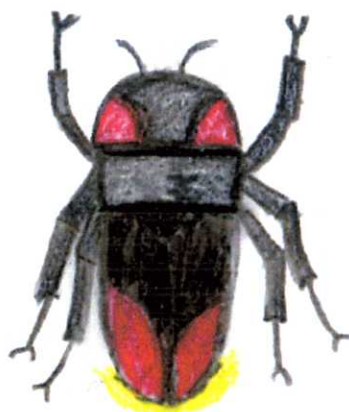
○工事をしたので川の水がすくなくなったので、もう少し水をふやしてください。

○木をのりかきまようにしてください。

＜おもしろかったこと＞

松尾さんが科学技術大学の方から薬品などをおかりし、ホタルのような光を、教室で作ってくれました。

ホタルの光は、「発光器」の中で、「こうそ」と「たんぱく質」をまぜ合わせて作られているそうです。



・ハイホタルのような虫は、

小さくて歩く時はチョビチョビと歩く。

